

川本中学校 学校便り

川本町立川本中学校 2月号
2025（令和7）年2月28日（金）

〒696-0004 島根県邑智郡川本町川下1112番地
TEL 0855-72-0408 FAX 0855-72-1762
E-mail info@kawamoto-jhs.kawamoto-town.jp

令和6年度学校評価から見た課題と手立てについて①

昨年末に「生徒アンケート」、「保護者アンケート」を実施させていただきました。毎学期実施している「職員評価」と合わせて、結果を分析し、来年度に向けて、改善できるところから取り組んでいます。今回はアンケート結果と分析の主な内容を紹介させていただきます。

1 生徒アンケートより

<成果と強み>

- ICT機器や図書館での学び合いの授業が定着し、生徒たちに浸透していることが伺えます。「ICT機器を使った授業はわかりやすい」の項目が、1学期・2学期ともに96%で、昨年より高くなっています。ICT支援員や学校司書との連携を一層図り、継続深化させていきます。
- 絆づくりに関する項目では、2学期はすべて90%以上の結果となりました。行事（体育祭・文化祭）や生徒会活動等で主体的に取り組む姿が見られました。充実した生徒会活動が展開されたことで、お互いの良さを認め合い、つながりを大切にする心が育ったと捉えています。
- 「中学校の職員は、生徒を大切に言葉遣いや態度で接している。」の項目が1学期・2学期ともに100%、「学校の職員は、自分の話を聞いてくれたり、様子を見て気にかけてくれるなどして、自分のことを理解しようとしてくれている。」、「学校の職員は、学習面や生活についてサポートしてくれている。」の2項目が、1学期・2学期ともに96%以上の肯定値でした。しっかりと見守られているという安心感が信頼につながっていると捉えています。

<課題と改善策>

- 地域の方との活動については、主に「総合的な学習の時間」に各学年で取り組んでおり、来年度も系統的かつ計画的に実践し、工夫に努めていきます。
- 学習活動情報ボードについては、昨年より数値が上がってきています。生徒の興味・関心に結びつくようなタイムリーな情報を提供していきます。
- メディアの使い方や生活習慣、家庭学習に関しては、昨年度より改善傾向にあります。今年度「生活習慣の自己理解」、「生徒主体のタイムマネジメント」をキーワードとして、諸活動を推進しました。生活リズム見直し週間や、睡眠を切り口にした生活時間の振り返りを実施し、生徒と保護者と一緒に考える取り組みを推進しました。これらの取組が家庭学習の推進にもつながるよう、引き続き様々な角度から課題解決に向け取り組んでいきます。

2 保護者アンケートより

<肯定的評価が高い項目について>

- 環境整備等の学校環境の項目について高い肯定率でした。保護者や生徒の目線に立ち、「安心して通わせる学校」、「安心して通える学校」づくりに力を入れていきます。

令和6年度学校評価から見た課題と手立てについて②

2 保護者アンケートより

- ・ 「生徒は、友だちと協力しながら生徒会活動や行事に取り組んでいる」、「生徒はお互い思いやりをもって生活している」といった項目で80%台の肯定値でした。また、人権学習に関連した2項目についても、高い肯定値でした。今後も生徒の思いに寄り添った教育活動を、皆さんとともに創っていきます。

<肯定的評価があまり高くない項目について>

- ・ 家庭学習に関する項目では、昨年より若干数値があがっているものの、肯定値が60～70%台でした。生徒評価と同様の傾向があります。引き続き、学習に取り組む姿勢が家庭でも続くよう声かけをしていきます。
- ・ メディアの使用に関する項目では、肯定値が50%台でした。この項目は、数年来の本校の課題であると捉えています。「生活習慣の自己理解」、「生徒主体のタイムマネジメント」をキーワードに、引き続き、様々な角度から課題解決に向け取り組んでいきます。

<記述の内容について>

- ・ 生徒の服装（特に冬季）についてご意見をいただきました。冬季は式典であっても防寒着着用で活動するなど、基本的な考え方として形式にはこだわらず、個人差を考慮して、その場の生徒の状況を聞き、結果として約束事以外も認めるなどの対応をしています。なお、約束事は生徒会を中心に生徒で提案協議し、生徒総会で変更を行う流れです。引き続き、生徒の意見を聞き、情報発信を行いながら、時代や気候の変化に合わせた対応を推進していきます。
- ・ 部活動や賞状についてご意見をいただきました。部活動では、引き続き、生徒や保護者の方の意見や思いを共有しながら、部活動に係る活動方針（部活動ガイドライン）のもと活動を推進してまいります。また、各教育活動の途中の取り組みや結果の返し方については、自己有用感が高まるような工夫を一層行い、随時改善と情報発信を行ってまいります。
- ・ スクールバスについてご意見をいただきました。今年度より多田・木路原方面へのスクールバス運用が始まりました。年度途中でしたが、教育委員会と相談し、ダイヤの微調整等行いました。引き続き、スクールバスの運行について適宜検討していきます。

3 まとめ

令和6年の生徒会スローガンである「+（プラス）」が示すように、「プラス言葉のシャワーを浴びせ合う」ことを確認し、生徒の意欲や自尊感情を高める教育活動を推進してまいりました。また、「生徒主体のタイムマネジメント推進」を、年間を貫くキーワードとして設定し、行動と振り返り、自己理解と自分のやりたいことと向かい合うことを一層推進してまいりました。この2つの大きな柱を車の両輪として、生徒に投げかけ、支え、一人ひとりの力を一層つけることをねらって様々なしかけを行ってきました。大きな行事だけでなく、日常での人への接し方や、ふるさと川本町への「貢献」という視点での学びなおしなど、多くの面で生徒の成長を感じる日々となりました。

多くの地域の方や、保護者の方に支えられているからこそ、安心して挑戦できる、そしてその土台が凡事徹底の心構えであり、ありがとうの表現であることが、随分浸透してきた実感を得た令和6年度となりました。これからも、生徒の思い、保護者の方や地域の皆様に応援していただける学校をめざし、教育活動に取り組んでまいります。来年度もよろしくお願いいたします。